

令和6年度

# 事業報告

社会福祉法人上小阿仁村社会福祉協議会

# 目 次

1. 地域福祉の推進	1
2. 介護保険事業の運営強化	4
3. 援護活動の推進	9
4. ボランティア活動・福祉教育の推進と募金運動の推進	9
5. 広報活動の実施	11
6. 福祉諸団体の事業推進への支援	11
7. 組織・財政基盤の充実強化	11
<杉風荘に関する特記事項>	13

## 令和6年度 上小阿仁村社会福祉協議会事業報告

令和6年度は、スタートの4月以降8月にかけて、特別養護老人ホーム杉風荘において退所される方や入院される方が例年の2倍程度にのぼり、経営的にも職員のモチベーション的にも苦しい立ち上がりとなりましたが、各部門の職員がそれぞれ気持ちを切らすことなく懸命に努力を重ねた結果、9月以降は例年以上の利用率を確保できました。一方、訪問介護・通所介護においては利用者の減少が顕著で、年間を通じて苦しい事業展開となりました。

こうしたことから、令和6年度の介護保険事業の実績は大きく落ち込んだところであり、不可抗力的な側面もあるとはいえ、令和6年度の社協全体の事業における反省点と捉えております。

7月には3年連続の大雨災害が村を襲い、大きな被害がもたらされました。社協では村の要請を受けて災害ボランティアセンターを開設し、村内及び近隣地域住民の方々のご協力のもと、被災住居等の清掃・片付け等を迅速に実施することができました。今後も自然災害は多発するものと想定されます。災害時の支援に関する体制整備を継続して行っていく必要があるものと考えております。

また、コロナ禍や自然災害以外にも、普段の生活の中で様々な生きづらさ、暮らしづらさを抱える人、また、望まない孤独・孤立の状態にある人等に関する相談案件も増加している状況にあります。

社協では令和6年度において、地域社会の変化の兆しや動向の把握に努めるとともに、保健・医療・福祉関係機関等との連携・協働を強化し、また、地域住民のご理解とご協力を得ながら、事業計画に基づき地域福祉事業や介護保険事業に取り組みましたので、その事業の実施状況等について報告します。

### 1. 地域福祉の推進

#### (1) 地域福祉を支えるネットワーク活動の推進

地域包括支援センターや民生・児童委員、近隣住民、福祉・医療関係機関との連携や情報の共有化等を図りながら、要援護者（ひとり暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯等）への日常の見守りや援助活動の推進に努めました。

また、地域のちょっとした困りごと＝「御用」を承る「村の御用聞きプロジェクト」を継続し、その御用解消のための活動も推進しました。

#### ●プロジェクト活動状況 (件)

	初回訪問	再訪	合計
令和4年度	564	443	1,007
令和5年度	47	780	827
令和6年度	39	924	963

(2) 村民ふれあい事業（ふれあい・支え合いの広場）の運営

デイサービスの営業を休止した毎週水曜日に福祉センターを村民に開放するとともに、月イチメニューを提供して村民の事業への参加促進を図りました。

- 第1水曜日：ふれあい食堂
- 第2水曜日：入浴サービス
- 第3・4水曜日：買い物支援ツアー

(人)

ふれあい広場	カラオケ	入浴	
132	258	6	
ふれあい食堂	買い物支援ツアー	福祉まつり	合計
771	165	108	1,440人

(3) ふれあい福祉まつりの開催

「第2回ふれあい福祉まつり」を12月4日（水）に開催しました。

(4) いきいきサロンの開催

介護予防と閉じこもり防止を目的に、沖田面地区の高齢者を対象とした「いきいきサロン」を月1回（第3木曜日）開催しました。

また、村が月2回開催する「元気サロン」の運営に協力しました。

【いきいきサロン】（第3木曜日）

- ・開催場所 若者センター
- ・開催回数 12回
- ・参加延人員 123人（1回平均：10.3人）

【元気サロン】（第2木曜日、第4火曜日）

- ・開催場所 保健センター
- ・開催回数 22回
- ・参加延人員 214人（1回平均：9.7人）

(5) サービス決定会議への参加

福祉サービス利用申請に関する可否決定や要援護者への支援のあり方などを検討するサービス決定会議に参加しました。

※住民福祉課、地域包括支援センター、社協職員：月1回開催

(6) 受託事業の実施

① 生活支援ハウス運営事業（8室）

デイサービス、ヘルパーとの連携を図るなどしてサービスの充実に努めました。

<利用状況> (人)

	年間延利用者数			1日平均
	男	女	計	
R5	606	1,021	1,627	4.5
R6	122	1,825	1,947	5.3
前年比	△484	+804	+320	

② 外出支援サービス事業

高齢や身体的な障害により通常の歩行が著しく困難で、一般の交通機関等を利用できない人（車椅子常用者、視覚障害者、ねたきり者）を対象に、病院等へ送迎する外出支援サービスを実施しました。

<利用状況> (人)

	村内	村外	計	月平均
R5	7	82	89	7.4
R6	2	47	49	4.1
前年比	△5	△35	△40	△3.3

③ 公営有償運送事業（こあに号）

村と五城目間の路線バスの廃止に伴い、交通空白地域における住民の交通手段の確保を目的に、村と八郎潟駅間を運行する公営有償運送事業（平日の朝・昼・夕の予約運行）を実施しました。

<利用状況>

・運行対応日数：243日 ・運行日数：31日 (人)

	朝	昼	夕	合計
村→八郎潟駅	11	11	1	23
八郎潟駅→村	6	8	11	25
計	17	19	12	48
前年比	△34	△5	△13	△52

#### ④ 地域支援事業

##### ○見守り配食サービス事業

日頃の食生活に心配があり、安否確認が必要な高齢者（65歳以上）を対象に週2回（火曜日、金曜日）夕食の配食サービスを実施しました。

<利用状況> (人・食)

	月平均 利用者数	年間延 配食数	月平均 配食数
R5	22.2	2,035	169.6
R6	17.6	1,593	132.8
前年比	△4.6	△442	△36.8

## 2. 介護保険事業の運営強化

### (1) 適正なサービスの提供と円滑な事業運営の強化

居宅介護支援事業の取扱件数は、令和3年度は前年度比△97件（△7.2%）、令和4年度は前年度比△57件（△4.5%）、令和5年度も前年度比△109件（△9.1%）と毎年減少してきましたが、令和6年度は前年度比+11件（+1.0%）となりました。村における居宅介護に対するニーズに下げ止まった感もありますが、令和7年度の取扱件数の推移が重要となってきます。

訪問介護事業については、令和3年度まで3カ年続けて利用者数が大きく減少していましたが、令和4年度は前年度比+78人（+2.5%）、令和5年度は前年度比+59人（+1.9%）となり2年続けて前年度比でプラスとなったことから、利用者数の減少に歯止めがかかったかと思われましたが、令和6年度は前年度比△442人（△13.6%）と大幅な減少となりました。

通所介護事業では、令和4年度は前年度比△164人（△5.9%）と4年連続して減少したものの減少幅は小さくなり、令和5年度は前年度比+108人（+4.1%）となりました。しかし、令和6年度は前年度比△278人（△10.2%）とこちらも大幅な減少となりました。

訪問介護事業及び通所介護事業が減少しているにも関わらず、居宅介護支援事業が前年比でプラスに転じた理由は、村民の在宅での介護ニーズが訪問・通所から短期入所へシフトしているためと考えられ、この傾向は今後益々顕著になっていくものと想定されます。

杉風荘では、地域住民から真に頼りとされる施設を目指し、在宅介護が困難な利用者については積極的に受け入れる方向で施設運営を行ってきています。令和6年度においては、月平均92.2%と目標の年間平均施設利用率98%を大きく下回りました。また例年以上に

入院者数の増加が見られました。

短期入所希望者についても、状態等の迅速な確認を行いながら、早期利用の要望に沿えるように努めています。

入所、短期入所共に各地域のケアマネジャーとの情報交換、連携を一層密にすることで利用率の向上を目指しましたが、結果として満床にすることはできませんでした。

ご利用者の皆様には感染症対策に注意しながら対面面会を実施し、社会的交流として9月の敬老会には和太鼓演奏を楽しんで頂きました。

新型コロナウイルス感染症対策は怠ることなく継続し細心の注意を払っていますが、11月にはコロナ陽性者3名の確認がありましたが、クラスターになることなく早期に収束できました。

施設はご利用者皆様の高齢化、医療依存度の高い利用者の増加や重度化、急な容態変化や通院頻度の増加、転倒リスク回避のための離床センサーの設置や多動な利用者への常時付き添いなどにより、職員の負担は増してきています。

そうした中でも内部研修を計画的に実施し、また安易に身体的拘束に向かうことのないようケアカンファレンスを重ねるなど、職員一同、常に利用者ファーストの視点で介護に努めています。

職員は、日々の介護支援を通じて認知症など多様な状態像に触れることで、貴重な経験を積み重ねています。

今後もこれまでの経験、実績をしっかりと踏まえつつ、杉風荘が地域福祉の拠点の一つとして地域の皆様から継続的なご支持をいただけるよう、施設運営にしっかりと取り組んで参ります。

① 居宅介護支援事業（ケアプラン）実績 （延べ件数）

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	35
〃 2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	2	45
要介護 1	25	23	22	22	22	24	25	21	21	20	18	21	264
〃 2	29	32	29	33	35	31	35	32	34	31	32	34	387
〃 3	14	15	15	14	13	13	13	14	15	15	9	13	163
〃 4	13	14	16	16	14	16	15	17	16	17	14	13	181
〃 5	4	2	1	1	1	2	4	3	2	3	3	3	29
合計	92	93	90	93	92	93	99	94	95	92	83	88	1,104
男	23	24	23	21	24	19	24	21	25	22	19	19	264
女	69	69	67	72	68	74	75	73	70	70	64	69	840

・前年度比            + 11件（+ 1.0%）

・月平均件数         92件（+ 1件）

## ② ヘルパーきらり（訪問介護事業）実績

（延べ人数）

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1	5	3	3	5	3	4	5	4	4	4	4	4	48
“ 2	22	30	28	32	29	25	32	29	30	35	32	21	345
要介護 1	179	192	154	147	138	154	151	148	149	158	135	151	1,856
“ 2	41	40	46	57	58	38	38	46	51	45	20	9	489
“ 3	0	0	0	6	9	7	21	2	13	0	0	0	58
“ 4	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
“ 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	253	268	231	247	237	228	247	229	247	242	191	185	2,805
男	113	112	89	72	68	70	75	85	101	105	76	78	1,044
女	140	156	142	175	169	158	172	144	146	137	115	107	1,761

・前年度比  $\Delta 442$ 人 ( $\Delta 13.6\%$ )・日平均利用者数  $7.7$ 人 ( $\Delta 1.2$ 人)

## ③ デイサービスきらり（通所介護事業）実績

（延べ人数）

介護度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 1	12	11	11	11	11	15	15	14	16	15	20	17	168
“ 2	19	17	18	21	25	27	28	28	17	17	25	28	270
要介護 1	77	71	74	82	78	75	77	62	59	62	56	64	837
“ 2	96	94	88	96	81	72	73	71	81	78	64	71	965
“ 3	10	15	11	9	5	10	12	17	17	17	12	8	143
“ 4	4	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6
“ 5	20	10	5	6	5	4	5	3	4	4	3	2	71
合計	238	218	207	227	205	203	210	195	194	193	180	190	2,460
男	56	59	55	52	39	41	48	51	56	53	50	55	615
女	182	159	152	175	166	162	162	144	138	140	130	135	1,845

・前年度比  $\Delta 164$ 人 ( $\Delta 5.9\%$ )・日平均利用者数  $11.9$ 人 ( $\Delta 1.4$ 人)

④ 杉風荘事業実績

ア. 利用率

(%)

	4年度実績	5年度実績	6年度実績
介護老人福祉施設利用者	97.4	94.5	92.2
短期入所生活介護利用者	45.0	70.9	81.1

イ. 利用者の状況

<介護保険者別利用状況>

(人)

保険者	男	女	計	比率 (%)
上小阿仁村	14	41	55	66.3
北秋田市	8	18	26	31.3
能代市	1	0	1	1.2
大館市	1	0	1	1.2
合計	24	59	83	100.0

(R7.3.31現在)

<年齢別・性別利用状況>

区分	男	女	計
60歳～64歳	1	0	1
65歳～69歳	0	1	1
70歳～74歳	1	1	2
75歳～79歳	0	1	1
80歳～84歳	4	13	17
85歳～89歳	10	19	29
90歳～94歳	7	12	19
95歳～99歳	1	9	10
100歳以上	0	3	3
合計	24	59	83
最高年齢	95歳	101歳	—
最低年齢	60歳	69歳	—
平均年齢	86.5歳	88.7歳	88.1歳

(R7.3.31現在)

<月別利用率>

(%)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
94.5	93.9	89.4	92.8	91.4	91.6	93.0	92.2	88.6	88.7	93.0	97.0	92.2
83.5	84.5	81.3	82.3	84.2	87.0	86.9	88.5	85.7	87.4	91.0	91.7	86.2
△11.0	△9.4	△8.1	△10.5	△7.2	△4.6	△6.1	△3.7	△2.9	△1.3	△2.0	△5.3	△6.0

※上段は、入院含む。中段は、入院除く。

<入院の状況>

(延べ日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
男	120	88	44	143	117	43	25	12	17	0	8	70	687	57.3
女	164	164	166	136	75	73	136	83	60	37	41	69	1,204	100.3
計	284	252	210	279	192	116	161	95	77	37	49	139	1,891	157.6

<受診の状況(短期利用者含む)>

(延べ人数)

	市民病院	診療所	鷹巣病院	今村クリニック	その他	計
年合計	324	140	91	16	7	578
月平均	27.0	11.7	7.6	1.3	0.6	48.2

<入・退所者の状況>

入所者数	退所者数
38名	36名

<面会の状況>

(延べ数)

	対面面会	窓越し面会	オンライン(IP含む)
R5	153家族	107家族	61家族
R6	144家族	83家族	71家族

<短期入所：介護保険者別利用状況>

(人)

保険者	実利用人数	延利用人数	比率(%)
上小阿仁村	54	1,251	70.4
北秋田市	25	526	29.6
合計	79	1,777	100.0

<平均要介護度>

入所	短期
4.3	2.2

(2) 介護報酬の状況

(円)

	R5	R6	前年度比
居宅介護支援	16,808,520	17,495,940	+ 687,420
ヘルパーきらり	13,798,494	10,771,053	△ 3,027,441
デイサービスきらり	29,352,880	25,645,851	△ 3,707,029
杉風荘	361,958,850	352,130,605	△ 9,828,245
合計	421,918,744	406,043,449	△ 15,875,295

(3) 介護職員等の処遇改善の実施

介護報酬の「介護職員処遇改善加算」、「介護職員等特定処遇改善加算」及び「介護職員等ベースアップ等支援加算」が一本化された「介護職員等処遇改善加算」を活用した職員の賃金改善を実施しました。

### 3. 援護活動の推進

(1) 物資支援の強化

村や民生委員との連携のもと、生活困窮者等を対象に灯油と食料の支援強化を図りました。

※灯油 108L（18Lポリタンク約6缶）

※食料 パックご飯、レトルトカレー、カップラーメン、缶詰等のセット 6回

(2) 生活福祉資金、たすけあい資金貸付事業の効果的活用

生活福祉資金については、利用がありませんでした。

たすけあい資金は、貸付は0件でしたが、前年度の貸付分の償還が14万円ありました。

(3) 歳末たすけあい募金による高齢者等への支援

令和3年度から新たに開始した歳末たすけあい弁当を継続したほか、前年度に引き続き、村内の福祉施設のご利用者全員に温かな靴下を2足ずつお配りしました。

<配分内訳>

配分先	配分金額	備考
歳末たすけあい弁当	212,060円	高齢単身：92世帯
村内福祉施設利用者	132,748円	4施設211人：ぽかぽか靴下2足
母子福祉会	15,000円	
共同募金配分原資充当金	61,692円	県共同募金会へ
合計	421,500円	

### 4. ボランティア活動・福祉教育の推進と募金運動の推進

(1) ボランティア活動の育成と福祉教育の推進

ボランティア団体や個人ボランティアが安心してボランティア活動に取り組めるように、ボランティア保険への加入を行いました。

福祉教育の推進については、上小阿仁小学校4年生の「総合的な学習の時間」の中で「福祉」に関する講話と車イス体験を行ったほか、当日開催された元気サロンへの参加者との交

流会も実施しました。

また、中学生を対象に北秋田地域振興局が開催した「大館・北秋田ふるさとお仕事博覧会」に参加し、社協の仕事や介護保険事業をPRしました。

10月4日（金）には、県社協と共催により村民を対象とした「災害ボランティア活動実地訓練」（研修）を生涯学習センターで開催し、32名が受講しました。

(2) 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の推進

赤い羽根共同募金（10月～）、歳末たすけあい募金（12月）へのご理解とご協力を村民や小中学生に呼びかけ、たくさんのご支援をいただきました。

	目 標 額	実 績 額
共 同 募 金	740,000円	652,277円
歳末たすけあい募金	420,000円	421,500円

集落・企業・団体 等 の 名 称	共 同 募 金		歳末たすけあい募金	
	金 額	件 数	金 額	件 数
長 信 田	9,600円	12件	7,200円	12件
羽 立	44,000	55	31,200	52
大 阿 瀬	13,800	14	9,200	13
堂 川	23,200	29	17,400	29
下 仏 社	14,400	18	10,800	18
上 仏 社	18,400	23	13,800	23
杉 花	13,600	17	10,200	17
小 沢 田	78,300	96	60,300	96
福 館	26,800	33	19,800	32
下五反沢	40,000	49	31,200	50
中五反沢	12,000	15	9,000	15
上五反沢	5,600	7	4,200	7
大 海	12,800	16	9,600	16
沖 田 面	148,000	185	110,400	184
大 林	41,600	52	31,800	53
小 田 瀬	13,600	17	9,600	16
南 沢	8,000	10	6,000	10
中 茂	1,000	1	600	1
八 木 沢	4,200	5	2,400	4
小 計	529,300	654	394,700	648

大 沢 塗 装 店	10,000	1	—	—
小 林 興 産	5,000	1	5,000	1
武 石 興 産	5,000	1	5,000	1
武 石 工 業	5,000	1	—	—
日 本 機 械 工 業	5,000	1	—	—
友 生 園 職 員 一 同	30,000	1	—	—
小 児 童 会 ・ 中 生 徒 会	10,916	1	—	—
民 生 児 童 委 員 一 同	—	—	14,000	1
社 協 職 員 一 同	41,000	1	—	—
個 人	4,120	2	2,800	4
募 金 箱	6,941	3	—	—
小 計	122,977	13	26,800	7
合 計	652,277	667	421,500	655

## 5. 広報活動の実施

### (1) 機関紙「社協だより」の発行（財源：社協会費、寄付金、共同募金）

本会の活動状況等を村民に提供するため、「社協だより」を年4回発行しました。

### (2) ホームページによる広報

ホームページ上で社協の活動を紹介したほか、各種イベント等で見せる村民の皆さんの笑顔を発信しました。

また、7月の大雨災害時の災害ボランティアの募集をホームページ上でも行いました。

## 6. 福祉諸団体の事業推進への支援

### ○福祉諸団体の活動支援（財源：共同募金）

老人クラブ連合会、母子福祉会、青少年育成村民会議及び婦人会の活動を支援しました。

## 7. 組織・財政基盤の充実強化

### (1) 理事会等の開催

適正な法人運営を図るため、理事会6回、役員協議会1回、監査1回、評議員会1回を開催しました。

また、杉風荘建替検討委員会を2回開催したほか、候補地選定部会を3回開催しました。

(2) 行政等からの補助金等の確保

安定した事業の実施や財政基盤の強化を図るため村への要望や協議を行い、継続した補助金、委託金の確保に努めました。

(3) 職員の資質向上

職員の資質向上を図るため、オンラインによる各種研修に職員を積極的に参加させました。

(4) 会員の加入促進

社協活動の周知を図り、会員の加入促進に努めました。

## 事業報告の附属明細書

令和6年度事業報告の附属明細書については、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため作成していません。